

子ども期における自己有能感・社会的受容感と精神的健康（2）

幼稚園教諭から見た子どもの精神的健康度を中心として

眞榮城和美

（清泉女学院大学）

【目的】本研究は、幼児期にある子どもの自己有能感と社会的受容感が精神的健康にどのような影響を及ぼしているのかについて検討することを目的としている。(2)では、集団生活場面での子どもの様子をよく知る幼稚園教諭から見た子どもの精神的健康度および問題行動傾向を中心に検討した。

【方法】

◆調査対象者および調査時期：調査対象者はN県に住む幼稚園児93名（男児39名、女児54名、平均年齢4.66歳）とその保護者（平均年齢36.25歳）および担任教師6名（平均年齢33.0歳）であった。倫理面に配慮し、事前に幼稚園で配布した質問紙に対して保護者からの回答と面接調査への同意が得られた対象児のみに面接調査を実施した。調査時期は2009年4月から2010年3月であった。

◆調査内容：幼児に対する面接調査では、幼児版 The Pictorial scale of perceived competence and social acceptance for preschooler and kindergartener (Harter&Pike, 1984; 以下PSPCSAと表記)の日本語版(眞榮城ら, 2010)を使用した。評定は4件法を用いており、得点が高いほど肯定的認知を行っているものとした。保護者と幼稚園教諭に対する質問紙調査では、子どもの自己有能感・社会的受容感を測定する尺度としてPSPCSA教師版を保護者にも適用させた内容の項目と、子どもの精神的健康度を測定する尺度としてSDQ(the Strengths and Difficulties Questionnaire, Sugawara, Sakai, Sugiura, Matsumoto, 2006)の日本語版を使用した。SDQは「問題行為の多さ」「多動性」「情緒の問題」「仲間関係の問題」および「向社会的行動」の5側面について測定する構造を持っている。回答方法は“はてはまる”“まああてはまる”“あてはまらない”の3件法を用いた。*本研究では、子ども自身が認知している自己有能感・社会的受容感得点と幼稚園教諭による回答を分析の対象とした。

【結果と考察】結果はすべてSPSS for Windows18.0, Amos18.0を用いて分析した。*()内の数値はSD各因子について性差・年齢差の検討を行ったところ有意差は認められなかったため以降の分析では性差・年齢差を考慮しないこととした。

- ① 自己有能感・社会的受容感得点の子ども評定・幼稚園教諭評定比較：自己有能感の下位因子である「認知的能力」「身体的能力」および社会的受容感得点の下位尺度である「仲間関係認知」について子ども評定と幼稚園教諭評定の差を検討するため、対応のあるt検定を行ったところ「身体的能力」においてのみ、子ども認知が幼稚園教諭認知より有意に高いことが認められた [$t(63) = 10.57, p < .001$; 子ども評定 $M = 3.55 (0.51)$, 教師評定 $M = 2.42 (0.90)$]。
- ② SDQ:Total Difficulties Score(SDQ-TDS:「問題行為の多さ」「多動性」「情緒の問題」「仲間関係の問題」の合計得点)に影響を及ぼす子ども評定による自己有能感・社会的受容感:SDQ-TDSを目的変数、子ども評定の「認知的能力」「身体的能力」「仲間関係」「母子関係」を説明変数として重回帰分析を行ったところ(強制投入)、「仲間関係」がSDQ-TDSに負の影響を及ぼしていることが認められた ($R^2 = .06, p < .05, \beta = -.28, p < .05$)。
- ③ 向社会的行動に影響を及ぼす子ども評定による自己有能感・社会的受容感:向社会的行動を目的変数、子ども評定の「認知的能力」「身体的能力」「仲間関係」「母子関係」を説明変数として重回帰分析を行ったところ(強制投入)、「身体的能力」が向社会的行動に正の影響を及ぼしていることが認められた ($R^2 = .25, p < .001, \beta = .62, p < .001$)。

以上の結果から、友だちとの関係性が良好である(遊び仲間がいる・仲間に入れてもらえる等)と認識できている子どもは、幼稚園教諭から見ても問題行動傾向が低く、幼稚園での生活も適応的なものであることが推察された。また、子どもが自分自身の身体的能力に自信があること、つまり「自己有能感」が高いことは、他者と物を分け合うこと、具合の悪そうな子に手を差し伸べること、すすんで他者のお手伝いをする事等の「向社会的行動」促進につながる可能性が示唆された。

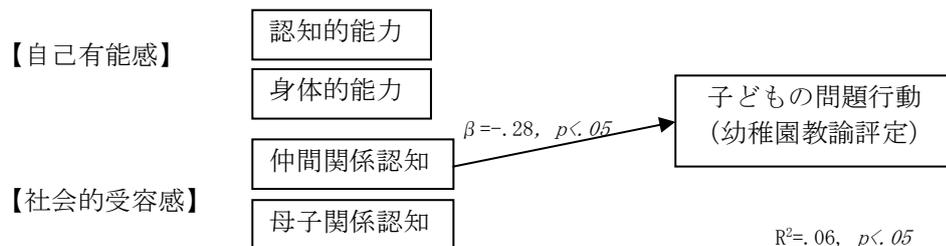


図 子どもの問題行動に影響を及ぼす自己有能感・社会的受容感